



2025年12月11日

各 位

会社名 ダブル・スコープ株式会社
代表者名 代表取締役社長 崔 元根
(コード番号 6619 東証プライム)
問合せ先 取締役 大内秀雄
(<https://w-scope.co.jp/ir/contact.html>)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025年3月13日に公表しました2026年1月期（2025年2月1日～2026年1月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年1月期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2025年3月13日発表)	百万円 5,400	百万円 △4,300	百万円 △7,300	百万円 △7,300	円 銭 △132.91
今回修正予想(B)	4,000	△4,300	△10,300	△10,300	△187.53
増減額(B-A)	△1,400	—	△3,000	△3,000	
増減率(%)	△25.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2025年1月期)	31,047	△1,008	△3,239	△3,713	△67.60

2. 修正の理由

2026年1月期の通期連結業績につきましては、セパレータ事業においては、引き続き民生用途向けの販売が堅調に推移する見込みですが、当社主力市場である欧州市場が未だ需要回復の途上であり、EV向け需要は当初の見込以上に回復が遅れています。イオン交換膜事業では、POSCO グループからの受注は想定どおりに推移しているものの、その他の新規案件の受注に遅れが生じており、前回発表予想に見込んでいた受注分は来年以降となる見通しが強くなっていることから、通期の連結売上高は計画比1,400百万円減少の4,000百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、コスト削減により売上原価を抑えていることから当初見込みを維持する見込みであります。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、欧州EV需要の想定以上の落ち込みにより、欧州のEV向けを主力事業としている持分法適用会社のW-SCOPE CHUNGJU PLANTCO., LTD.の業績が下振れしており、計画比3,000百万円減少の10,300百万円の損失となる見込みであります。

【業績予想に関する留意事項】

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上